



故・吉田さんの著書出版 “想いは紡がれる” ザ・ピープル前理事長

NPO法人ザ・ピープルの前理事長で、昨年十一月に六十七



著者の故・吉田さん

歳で死去した故・吉田恵美子さんの著書『想いはこうして紡がれる』（A6判、二百六十九ページ、二千九十四円・税込）Ⅱ写真Ⅱが発刊され、市内各書店で販売中。

活動だけでなく、葛藤のあった自身の人生も振り返り、「等身大の歩み」を伝えている。

本書は「古着を燃やさないまち」を実現した三十三年の市民活動を通して伝えたいことを副題とし、五章構成。

一章から二章までは、古着リサイクルに取り組むザ・ピープルの結成エピソードや、同NPOによる東日本大震災発生後のボランティアセンター運営など。三章では、震災復興を目指して立ち上げ、吉田さんが代表理事を務めた「ふくしまオーガ



ニックコットンプロジェクト」の取り組みと思い。四章では、地域課題に向き合う組織などについて記されている。

最終章では、活動の原動力にもなった、幼少期からの葛藤などを記載。組織の「記録集」を超えた、「ひとりの市民の物語」を載せることで、一步を踏み出そうとする読者にエールを送っている。

吉田さんは昨年一年間にわたり、本誌でこれら活動を振り返った「人、来し方」を連載しつつ、「地域課題に向き合う人たちの役に立つような本にしたい」と話し、著書の執筆に励んでいた。

「おわりに」の文章では、「後からやってくるあなたにとつて、私たちの体験が少しでも力になればうれしいです。がんばってください。応援しています」と結んでいる。

Fサークルの花 60人余が親交深め 義援金10万円贈る

フラワーサークル「風の花」の集い（有馬恵子さん主宰）が、昨年暮れに、植田町の八幡台やまたまやで開かれ、会員らが親交を深めた。

同サークルは、主宰者の有馬さんを講師に、市内外各地区でフラワーアレンジメント教室を開いている。会員は合わせて約



美食を満喫する会員ら

二百人を数える。

十四回目の集いとなった昨年有馬さんのあいさつに続いて、食事会に入り、美食と会話を満喫した。このあと、安藤家御家流・榊原和子さんの香道や箏（そう）曲を楽しみ、心地よい香りや音色が会場に広がった。

同懇親会は、チャリティーとしても毎年開催。参加費の一部は、前年に引き続き、今年も能登半島地震災害義援金として十万円が贈られる。

膝関節症の治療に 第三の選択肢提供

呉羽病院

呉羽総合病院は先ごろ、変形性膝関節症の新型治療機器「Coolcar（クーリーフ）」を県内初導入した。従来とは異なる治療法を行えることから、患者に新しい選択肢を提示できる。

導入機器は、「ラジオ波治療装置」。つながった専用針を膝

に刺し、「ラジオ波」と呼ばれる電磁波を流して神経を部分的に焼くことで、痛みの軽減を図る。二〇二三（令和五）年に治療法が保険適用となった。

治療時間は三十分程度で、日帰りで行える。手術と比べて身体的負担が少ないのが特徴。半年後に五割以上の痛みが軽減した人の割合は七割以上で、ステロイド注射の一〇％台を大きく上回るという。

従来の治療は、痛みを軽減するための注射や服薬による「保存治療」、人工関節を入れるなどの「手術治療」の二つ。ラジオ波治療はその中間で、担当する砂川隆英医師は「第三の選択肢が提供できる」と話している。

治療を希望の際は、同病院整形外科（砂川医師）を予約し、受診時に相談すること。

問い合わせなどは、同病院（電話六三二二八二）まで。



新型治療機器を使用する砂川医師